



2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年2月5日

上場会社名 株式会社 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松岡 勇佑

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年9月期第1四半期 | 742 | 5.7 | 321 | 0.8 | 321 | 0.8 | 221 | 1.3 |
| 2018年9月期第1四半期 | 787 | 9.5 | 319 | 10.5 | 319 | 10.5 | 218 | 11.1 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年9月期第1四半期 | 66.08 | |
| 2018年9月期第1四半期 | 65.26 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年9月期第1四半期 | 4,444 | 3,614 | 81.3 |
| 2018年9月期 | 4,570 | 3,510 | 76.8 |

(参考)自己資本 2019年9月期第1四半期 3,614百万円 2018年9月期 3,510百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年9月期 | | 30.00 | | 35.00 | 65.00 |
| 2019年9月期 | | | | | |
| 2019年9月期(予想) | | 35.00 | | 35.00 | 70.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,400 | 0.9 | 500 | 1.7 | 500 | 1.6 | 340 | 1.1 | 101.50 |
| 通期 | 2,800 | 5.9 | 1,000 | 9.8 | 1,000 | 9.8 | 680 | 6.7 | 202.99 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年9月期1Q | 4,090,000 株 | 2018年9月期 | 4,090,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年9月期1Q | 740,146 株 | 2018年9月期 | 740,146 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年9月期1Q | 3,349,854 株 | 2018年9月期1Q | 3,349,885 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2018年10月1日から2018年12月31日の3ヶ月間）におけるわが国経済については、生産や個人消費は回復基調が続いており無難に推移しております。しかしながら、株価は27年振りに日経平均最高値を付けたあと、大幅に下落するなど金融市場は不安定な状況です。当社の主要な販売先である金融機関におきましても、低金利政策から業況は厳しくシステム投資の選別が厳しくなっています。

このような環境下において、「システム事業」につきましては、積極的な営業活動により受注は予定通り獲得できており、特に既存システムへの元号改正対応の受注が多くなっています。システム開発に係わる「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」の当第1四半期累計期間の売上高はほぼ予定通りに推移し、営業利益は材料費の削減等もあり前年同期並みを達成しています。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっています。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は742,066千円（前年同期比5.7%減）、営業利益は321,787千円（同0.8%増）、経常利益は321,841千円（同0.8%増）、四半期純利益は221,374千円（同1.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「財務分析・企業評価支援システム」や「融資稟議支援システム」は大手地銀や信用金庫からの受注があり前年同期比増収となっています。「担保不動産評価管理システム」は大手銀行や大手地銀などからの受注があるため、今後の売上高に貢献すると考えています。一方「契約書作成支援システム」は信用金庫中心に売上高に貢献していますが前年同期の地銀宛売上高の反動から減収となっています。元号対応の売上高も各システムに分散して徐々に売上高に計上されています。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、255,427千円（前年同期比14.9%減）、セグメント内の売上高構成比は36.0%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、例年通り「担保不動産評価管理システム」で使用する路線価データの納品があり前年同期並みとなり、システムサポート部門の売上高は454,963千円（前年同期比0.2%減）、セグメント内の売上高構成比は64.0%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は710,391千円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は305,883千円（同0.9%減）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション2棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計5物件あり、当第1四半期累計期間の売上高は、賃貸収入31,674千円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は15,904千円（同49.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は、4,444,743千円となり、前事業年度末に比べ125,412千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が134,376千円増加した一方で、売掛金が248,245千円減少したことによるものです。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、830,231千円となり、前事業年度末に比べ229,542千円減少いたしました。これは主に、前受収益及び未払法人税等が減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、3,614,511千円となり、前事業年度末に比べ104,129千円増加いたしました。これは四半期純利益の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は、81.3%（前事業年度末は76.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、主要な販売先である金融機関の取り巻く環境は、低金利政策が継続され依然厳しいと見られますが、消費や生産などは当面堅調に推移し景気は回復基調と考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の様々なニーズを捉えて、地方銀行への販売を強化し、信用リスク管理業務のみならず、営業推進や総務・経理業務に係るシステムへも積極的に展開し品揃えの充実を図り、受注に結び付けていく考えです。

2019年9月期におきましては、売上高2,800,000千円(前年同期比5.9%増)、営業利益1,000,000千円(同9.8%増)、経常利益1,000,000千円(同9.8%増)、当期純利益680,000千円(同6.7%増)と予想しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2018年9月30日) | 当第1四半期会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,942,368 | 2,076,744 |
| 売掛金 | 612,541 | 364,295 |
| 仕掛品 | 39,112 | 52,417 |
| 未収収益 | 3,700 | 8,505 |
| その他 | 10,729 | 10,952 |
| 流動資産合計 | 2,608,452 | 2,512,916 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 983,387 | 983,387 |
| 減価償却累計額 | △207,908 | △217,139 |
| 建物(純額) | 775,479 | 766,248 |
| 構築物 | 4,205 | 4,205 |
| 減価償却累計額 | △2,735 | △2,802 |
| 構築物(純額) | 1,470 | 1,403 |
| 機械及び装置 | 75,054 | 75,054 |
| 減価償却累計額 | △68,276 | △69,970 |
| 機械及び装置(純額) | 6,778 | 5,084 |
| 工具、器具及び備品 | 62,719 | 63,365 |
| 減価償却累計額 | △56,612 | △57,388 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 6,107 | 5,976 |
| 土地 | 971,634 | 971,634 |
| 有形固定資産合計 | 1,761,470 | 1,750,347 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 1,116 | 1,116 |
| ソフトウェア | 12,747 | 11,401 |
| 無形固定資産合計 | 13,863 | 12,517 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 10,000 | 10,000 |
| 繰延税金資産 | 119,141 | 101,734 |
| 会員権 | 12,650 | 12,650 |
| 差入保証金 | 44,577 | 44,577 |
| 投資その他の資産合計 | 186,369 | 168,961 |
| 固定資産合計 | 1,961,703 | 1,931,827 |
| 資産合計 | 4,570,156 | 4,444,743 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (2018年9月30日) | 当第1四半期会計期間 (2018年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 66,040 | 48,494 |
| 未払金 | 88,131 | 109,011 |
| 未払消費税等 | 20,782 | 38,279 |
| 未払法人税等 | 178,420 | 89,624 |
| 前受金 | 11,487 | — |
| 前受収益 | 328,334 | 196,849 |
| 賞与引当金 | 72,403 | 23,948 |
| 製品保証引当金 | 3,962 | 1,226 |
| 受注損失引当金 | — | 1,725 |
| その他 | 17,425 | 43,882 |
| 流動負債合計 | 786,990 | 553,042 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 228,079 | 233,079 |
| 長期預り保証金 | 44,704 | 44,110 |
| 固定負債合計 | 272,784 | 277,189 |
| 負債合計 | 1,059,774 | 830,231 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 326,625 | 326,625 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 365,175 | 365,175 |
| 資本剰余金合計 | 365,175 | 365,175 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 1,816 | 1,816 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 3,580,857 | 3,684,987 |
| 利益剰余金合計 | 3,582,673 | 3,686,803 |
| 自己株式 | △764,091 | △764,091 |
| 株主資本合計 | 3,510,381 | 3,614,511 |
| 純資産合計 | 3,510,381 | 3,614,511 |
| 負債純資産合計 | 4,570,156 | 4,444,743 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日) | 当第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 787,315 | 742,066 |
| 売上原価 | 315,250 | 247,494 |
| 売上総利益 | 472,064 | 494,572 |
| 販売費及び一般管理費 | 152,811 | 172,784 |
| 営業利益 | 319,253 | 321,787 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 39 | 37 |
| 受取手数料 | 16 | 16 |
| 営業外収益合計 | 56 | 53 |
| 経常利益 | 319,309 | 321,841 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | — |
| 特別利益合計 | 4 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 1 | — |
| 税引前四半期純利益 | 319,312 | 321,841 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 86,650 | 83,059 |
| 法人税等調整額 | 14,035 | 17,407 |
| 法人税等合計 | 100,685 | 100,466 |
| 四半期純利益 | 218,627 | 221,374 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は「投資その他の資産」の区分に表示しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表についても組替えを行っており、「流動資産」の区分に表示していた繰延税金資産33,483千円は、「投資その他の資産」の区分に含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | システム事業 | 不動産賃貸事業 | 合計 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 756,060 | 31,254 | 787,315 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 756,060 | 31,254 | 787,315 |
| セグメント利益 | 308,602 | 10,651 | 319,253 |

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | システム事業 | 不動産賃貸事業 | 合計 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 710,391 | 31,674 | 742,066 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 710,391 | 31,674 | 742,066 |
| セグメント利益 | 305,883 | 15,904 | 321,787 |

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。